アフリカ州

名前

問1　アフリカ大陸の北部に広がるサハラ砂漠の南縁に沿って、東西に帯状に伸びる半乾燥地域では、近年、土地の荒廃が進み植生が失われる現象が深刻化しています。この地域の名称を何といいますか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. サバンナ　2. ステップ　3. サヘル　4. セルバ

問2　アフリカ州の国々に見られる、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造を何といいますか。この経済構造は、天候不順や国際価格の変動の影響を受けやすいという特徴があります。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. バイオテクノロジー　2. モノカルチャー経済　3. フェアトレード　4. プランテーション農業

問3　アフリカの多くの国で見られる「モノカルチャー経済」の状況を正しく把握するために、統計資料から読み取るべき情報として最も適切なものはどれですか。（2024年 山形県公立入試 類似）

1. その国が製品を輸入している主な相手国と、相手国ごとの輸入額の推移　2. その国の国内における農業産出額の合計と、国内で消費される作物の内訳　3. その国の輸出総額において、特定の農作物や鉱産資源などの品目が占める割合　4. その国の総人口の推移と、都市部に居住する人口が全体に占める割合

問4　アフリカのナイジェリアでは、輸出額の8割以上を原油が占めています。このように、特定の農産物や鉱産資源の輸出に国家経済が大きく依存している経済構造を何といいますか。（2021年 岡山県公立入試 類似）

1. 加工貿易　2. 地産地消　3. 自由貿易　4. モノカルチャー経済

問5　ウガンダにおける2004年から2018年の米の生産状況について、収穫面積は約9万ヘクタール前後でほぼ横ばいである一方、生産量は約12.1万トンから約24.6万トンへと約2倍に増加しています。このデータから読み取れる、ウガンダの農業における変化として最も適切な説明はどれですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 米から他の作物への転換が進み、収穫面積が減少した　2. 気候変動の影響で、収穫面積あたりの収穫量が減少した　3. 土地あたりの生産性が向上した　4. 収穫面積の大幅な拡大により増産に成功した

問6　アフリカ諸国に多く見られる「モノカルチャー経済」の特色と課題について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. 原材料を輸入して高度な工業製品を製造・輸出する構造であり、国際価格の影響を受けにくい安定した経済である。　2. 輸出の大部分を機械類や自動車などの工業製品が占めており、国内総生産（GDP）は欧米諸国と同水準にある。　3. 特定の資源や農産物の輸出が中心となっており、その品目の国際価格が下落すると国全体の経済に大きな打撃を与える。　4. 複数の農産物や工業製品をバランスよく輸出することでリスクを分散しており、世界不況の影響を受けにくい構造である。

問7　特定の農産物や鉱産資源など、ごく少数の一次産品の輸出に国の経済が過度に依存している経済構造を何といいますか。（2020年 山形県公立入試 類似）

1. 知識集約型社会　2. 自由貿易　3. 加工貿易　4. モノカルチャー経済

問8　アフリカ諸国の産業と資源に関する記述として、ボツワナの状況を正しく説明しているものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. 金や白金の生産が世界一であり、アフリカ最大の工業国として経済発展を遂げている。　2. 銅の生産が盛んであり、輸出ルートが「銅の道」と呼ばれる地域を形成している。　3. 原油の輸出額が国家収入の大部分を占めており、石油輸出国機構（OPEC）の主要メンバーである。　4. ダイヤモンドの生産量がロシアに次いで世界有数であり、鉱業が国の経済を支えている。

問9　ナイジェリアの輸出総額のうち、第1位の原油が約82.3%、第2位の液化天然ガスが約9.9%を占めているように、特定の農産物や鉱産資源の輸出に過度に依存する経済構造を「モノカルチャー経済」と呼びます。このような経済体制が抱える課題として、最も適切な説明を選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 特定の産品の国際価格が下落すると、国家の財政が不安定になりやすいこと　2. 国内の食料自給率が高まり、工業製品の輸入が必要なくなること　3. 資源の枯渇を防ぐために、政府が輸出量を厳しく制限しなければならないこと　4. 先進国からの経済援助を受けるための条件が厳しくなること

問10　アフリカ州の産業において、特定の農作物や鉱産資源の輸出に頼りすぎる「モノカルチャー経済」が課題となっている。この経済構造の要因の一つである、熱帯地域での大規模栽培に関する記述として、その仕組みとリスクを正しく説明しているものはどれか。（2023年 奈良県公立入試 類似）

1. プランテーションでは特定の輸出用商品作物を専門に栽培するため、国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。　2. 灌漑農業によって砂漠化を防止しながら栽培を行うため、環境保護と経済発展を両立させる仕組みとして機能している。　3. 焼畑農業によって土地を移動しながら栽培を行うため、特定の作物の国際価格が下落しても別の土地で新しい作物を育てて対応できる。　4. プランテーションでは主食となる穀物を多種類栽培するため、天候不順による食料不足のリスクを分散することができる。

問11　21世紀半ばにかけての世界の人口推移を予測した統計において、2010年から2050年にかけての人口増加の割合が最も大きくなると予測されている地域はどこか、名称を答えなさい。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. アフリカ　2. ヨーロッパ　3. 南アメリカ　4. 北アメリカ

問12　赤道付近に位置し、標高が1000メートルを超えるアフリカ東部の高地で見られる、気候や生活の様子について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2025年 岐阜県公立入試 類似）

1. 緯度が低いため、一年を通じて30度を超える猛暑が続き、雨季と乾季がはっきりと分かれる。　2. 南半球からの冷たい季節風の影響を直接受けるため、冬には氷点下まで気温が下がる。　3. 海抜が低く平坦な土地が続いているため、地表の熱が逃げにくく、夜間も非常に気温が高い。　4. 赤道直下のため、季節による気温の変化は小さいが、標高の影響で年間を通じて涼しい。

問13　コートジボワールにおけるカカオ豆や、ナイジェリアにおける原油のように、特定の一次産品の輸出に頼る「モノカルチャー経済」が抱える課題として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）

1. 工業化が進みすぎることで、伝統的な農業が衰退し食料自給率が低下する。　2. 原材料を輸入して製品を輸出するため、輸入価格の高騰が製品価格に影響する。　3. 国際価格の暴落や天候による不作が、国家財政に大きな打撃を与える。　4. 特定の国とだけ貿易を行うため、外交関係の悪化によって輸出が完全に止まる。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 サヘル	サハラ砂漠の南側に位置するサヘルは、アラビア語で「岸辺」を意味する言葉に由来します。もともとは乾燥に強い草が生える地域で遊牧などが行われてきましたが、近年は砂漠化の進行が国際的な環境問題となっています。南アメリカのアマゾン川流域に見られる熱帯雨林である「セルバ」や、熱帯の乾季がある地域に見られる丈の長い草の草原「サバンナ」との違いを理解しておくことが重要です。
問2	答え 2 モノカルチャー経済	特定の一次産品（農産物や鉱産資源）の生産や輸出に依存する経済構造をモノカルチャー経済といいます。プランテーション農業は、植民地時代に作られた大規模農園で行われる農業のことであり、経済構造全体を指す言葉とは区別が必要です。
問3	答え 3 その国の輸出総額において、特定の農作物や鉱産資源などの品目が占める割合	モノカルチャー経済とは、特定の一次産品（コーヒー、カカオ、銅など）の輸出に過度に依存する経済構造を指します。これを判別するには、輸出総額の中でどの品目がどれだけの割合を占めているかを確認する必要があります。輸入相手国や国内の農業産出額だけでは、輸出依存の度合いを測ることはできません。
問4	答え 4 モノカルチャー経済	特定の農産物や鉱産資源に依存した経済構造はモノカルチャー経済と呼ばれます。アフリカ諸国の多くに見られる特徴で、かつての植民地支配の影響などで特定の産品の生産に特化した歴史的背景があります。この仕組みでは、その産品の国際価格や天候などの影響をダイレクトに受けてしまうため、経済の安定性が低いという課題があります。
問5	答え 3 土地あたりの生産性が向上した	収穫面積が約9万ヘクタール前後でほとんど変わっていない（あるいは微減している）にもかかわらず、生産量が約2倍に増えているということは、同じ面積の土地からより多くの収穫が得られるようになったことを意味します。これは、品種改良や肥料の導入、灌漑施設の整備などの技術革新によって、土地あたりの「生産性」が高まったことを示しています。
問6	答え 3 特定の資源や農産物の輸出が中心となっており、その品目の国際価格が下落すると国全体の経済に大きな打撃を与える。	ナイジェリアの原油やザンビアの銅のように、輸出の7割以上を特定の1品目に頼る傾向があります。このように輸出の中心が資源に偏っているため、自国の努力だけではコントロールできない世界情勢や国際価格の変動によって、国の収入が激減するリスクがあります。また、こうした国々は先進工業国と比べて国内総生産（GDP）が低いことが一般的です。
問7	答え 4 モノカルチャー経済	発展途上国、特にアフリカ諸国などで多く見られる経済形態です。特定の一次産品（加工されていない原材料や農産物）に頼るため、国際価格の変動や天候の影響を受けやすく、経済が不安定になりやすいという課題があります。
問8	答え 4 ダイヤモンドの生産量がロシアに次いで世界有数であり、鉱業が国の経済を支えている。	ボツワナはアフリカ南部において、豊富なダイヤモンド資源の採掘と輸出を背景に安定した経済成長を実現してきました。他の選択肢については、金や白金は南アフリカ共和国、銅はザンビア、原油はナイジェリアなどの特徴を指しており、アフリカ各国の主要な資源と国名を結びつけて理解しておく必要があります。
問9	答え 1 特定の産品の国際価格が下落すると、国家の財政が不安定になりやすいこと	モノカルチャー経済は、特定の品目の国際市場での価格変動や、不作・資源の枯渇などの影響をダイレクトに受けるため、経済の安定性を欠くという弱点があります。ナイジェリアでは、原油価格の暴落が国内経済に深刻な打撃を与えることが大きな課題となっており、産業の多角化が急がれています。
問10	答え 1 プランテーションでは特定の輸出用商品作物を専門に栽培するため、国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼしやすい。	植民地時代に導入されたプランテーションによる大規模生産は、特定の作物（商品作物）に特化したモノカルチャー経済を生み出しました。この仕組みは、その作物の国際価格が暴落したり、天候不順で不作になったりすると、国全体の輸出収入が激減し、経済が不安定になるという大きなリスクを抱えています。
問11	答え 1 アフリカ	21世紀の世界人口は増加傾向にありますが、地域によってその推移は異なります。統計上、アジアは世界最大の人口を抱える地域として推移していますが、増加の「割合」に注目すると、2010年以降はアフリカ地域が他の地域を大きく上回るペースで拡大していくと予測されています。
問12	答え 4 赤道直下のため、季節による気温の変化は小さいが、標高の影響で年間を通じて涼しい。	赤道付近の地域は太陽からのエネルギーを強く受けるため、本来は熱帯の気候になります。しかし、ナイロビなどの高地では、標高が高いことで気温が低くなり、一年中「常春」のような状態になります。赤道付近であるため、季節による日照時間の差が少なく、月ごとの平均気温の差（年較差）が非常に小さいことも大きな特徴です。
問13	答え 3 国際価格の暴落や天候による不作が、国家財政に大きな打撃を与える。	輸出先や輸出品目が限定されているため、その品目の国際市場での価値が下がったり、自然災害などで生産量が減少したりすると、代わりとなる収入源がなく、経済が非常に不安定になります。これを打破するために、多くの発展途上国では工業化などの産業育成が進められています。